

にぎわいの創出機能の検討について

概 要

福利にぎわい施設に配置する、にぎわいの創出機能については、西成特区構想及び、活用ビジョンにおいて下記のように定められている。

- ・ 新今宮駅前という「地の利」を活かしたインバウンド需要をターゲットとしたにぎわいの創出。
- ・ 多くの人が集い、交流する中から仕事生まれる「チャレンジ」の核となり、「雇用を生み出すにぎわい」を展開し、区全体に広げていく。

このうち、「地の利」を活かしたにぎわいの創出については、今後、市場調査を実施し、市場ニーズを確認する必要がある。

「雇用を生み出すにぎわい」については、インバウンド需要にマッチした、スモールビジネスのインキュベーション拠点をめざし、起業チャレンジの具体案の作成及び施設に導入するためのしくみを検討している。

機能配置イメージ案

福利にぎわい施設（想定）

最大延床：約19,000㎡

※延床（規模感）については、現行容積率より算出。今後、市場調査を実施し、市場ニーズを要確認

4つの福利機能

延床：約1,044㎡

- ・ 多目的ホール
- ・ 図書施設
- ・ 実演の場、地域の歴史の伝承等
- ・ こどもの居場所、子育て支援機能

にぎわいの創出機能

（地の利を活かしたにぎわい）

「4つの福利機能」や「雇用を生み出すにぎわい」の持続的な運営を支えるための機能について、今後、市場調査を実施し、市場ニーズを要確認。

にぎわいの創出機能

（雇用を生み出すにぎわい）

起業チャレンジの具体案の作成及び施設に導入するためのしくみを検討中。

にぎわいを創出

にぎわいの創出機能の検討について ～雇用を生み出すにぎわい～

検討案

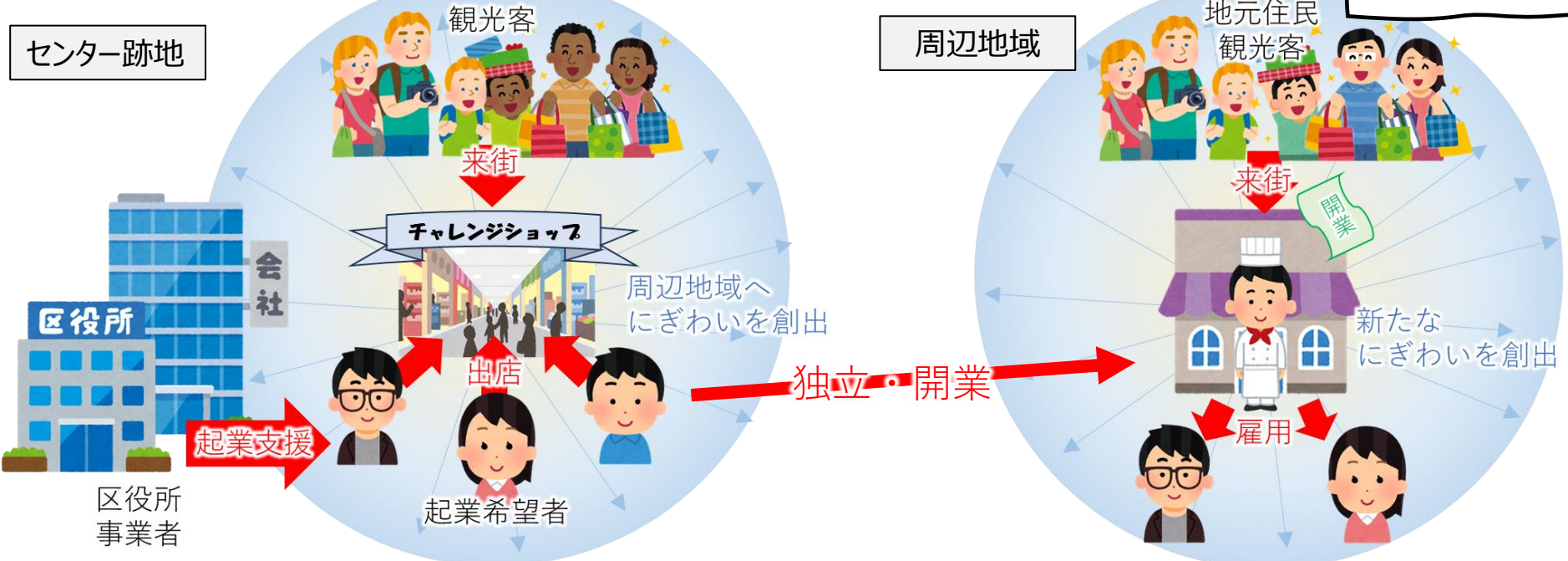
「食」をテーマとしたチャレンジショップを展開

- 「地の利」を活かしたにぎわいにおいてターゲットとしているインバウンド需要が合致する、西成区の観光資源の一つである「食」をテーマとした取組を検討中。
- スモールビジネスとして新規創業を促し、新たなにぎわいを供出して雇用を生み出す。**
- 起業希望者を募集しチャレンジショップを展開。
- チャレンジショップへ出店後、周辺地域で独立開業。周辺地域にて新たなにぎわい、雇用を創出。

チャレンジショップとは...

- ・ 安価で利用可能な施設・設備を提供される
- ・ 経営アドバイス等のサポート体制が準備されている
- ・ 短期間出店し、開業に向けてのノウハウが取得できる

チャレンジショップ実施から独立・開業のイメージ案



- ・ 福利にぎわい施設においてチャレンジショップを実施
- ・ 区役所・事業者において起業希望者を支援
- ・ 来街者の増加等、周辺地域へにぎわいを創出

- ・ 周辺地域での空き店舗等を活用し、出店
- ・ 周辺地域において新たなにぎわいを創出するとともに、「新たな雇用」を生み出す。

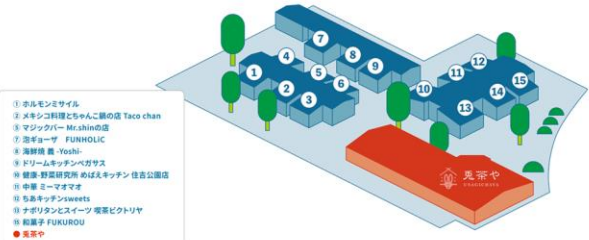
検討の方向性

- 単に食をテーマとしたチャレンジショップを実施するのではなく、周辺地域ににぎわいを創出するためにも、より、来街者を呼び込めるよう、チャレンジショップに個性や付加価値をつけ、特色を設ける必要がある。
- そうした中、観光を目的とした来街者の需要とマッチするような、「横丁」や「屋台村」といったブランディングの可能性について検討を進めている。
- 現在、運営事業者に対するヒアリングを行い、開設の経緯や採算性、地域への波及効果等を調査中である。

「横丁」や「屋台村」のイメージ

事例① 住吉公園「汐かけ横丁」

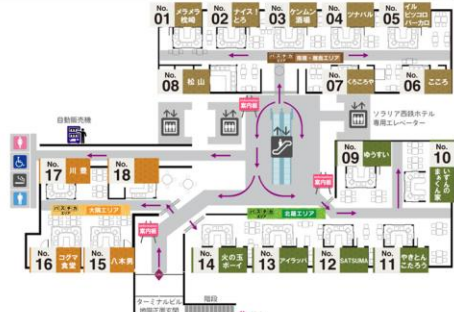
所在地	大阪市住之江区	店舗数	16	形態	屋外型
コンセプト	「願かけ声かけ ゆめ追いかけて 腰かけ話かけ お出かけ横丁」 まちの良さや食文化を発信するインキュベーションステージ				
特徴	- 全国初の公園での常設型屋台村、大阪府営公園で初のP-PFI - 以下の5つのテーマを掲げている。 ①住吉大社の門前町を形成する事 ②地域の商店街と連携し、この先起こりうる商店街の空洞化に備える（横丁の卒業店舗が商店街の空き店舗を埋める） ③起業・創業しやすいスキームを導入し子育て中のママや地域の方の活躍の場を創る ④地域の名店などと連携し地域の食文化を継承する ⑤各店舗がそれぞれ運営を行いながら地域の課題解決を行う。				



*配置図：汐かけ横丁ホームページより

事例② 鹿児島中央駅「かごつまふるさと屋台村」

所在地	鹿児島県鹿児島市	店舗数	25	形態	屋内型
コンセプト	鹿児島をまるごと楽しめる笑顔と味自慢の25店舗				
特徴	- 前進の旧屋台村は、鹿児島中央駅の再開発の合間に、暫定開業 - 現在は、九州新幹線 鹿児島中央駅再開発ビル・バスターミナルビル内に所在。室内のフードコート・小規模な居酒屋のような雰囲気。 - 地産地消：地元名産品の黒牛、焼酎などの地元食材をアピール - 郷中教育：先輩店舗が後輩店舗に助言し、育成する - 県内各地との連携：出店者が県内の各地域と連携し（出水郡長島町、枕崎市、鹿児島郡三島村など）、魅力を伝える				



*配置図・写真：「かごつまふるさと屋台村」ホームページより

